地学 Sheets

No.59

北海道各地から産出する黒曜石
その51

留辺蘂地域～露頭写真～（Rubeshibe Area）

写真1 岩山ノ沢B.「原産地遺跡」周辺に位置する. この露頭から少なくとも標高約940m付近まで黒曜石の分布を確認できる.

写真2 通子沢A. 厚さ50㎝～1m程度の黒曜石の露出. この黒曜石は、同じ標高で側方へ続くため溶岩流の一部と考えられる.

写真3 通子沢Aの黒曜岩の露出. 同じ黒曜岩溶岩が上方にも露出. 少なくとも2枚の溶岩流がある. 留辺蘂Ⅱ組成グループ.

写真4 通子沢A. 810m付近の黒曜岩溶岩の下部の付近. 球顆とマレカナイトが混ざりあうように入っており、脆くなっている.

写真5 通子沢Aで採取. 溶岩流が存在し、そこから取り出した. 写真では見づらいが流理構造が見られる. 留辺蘂Ⅱ組成グループ.

写真6 七ノ沢Bの土石流堆積物から採取. 留辺蘂Ⅱ組成グループに属する. これらはやがて武利川へ転石となって流れていく.

写真7 斜面を切って林道にした部分から採取した岩山ノ沢Bで採取. 1㎝程度の球顆を含む. 留辺蘂Ⅰ組成グループに属する.

写真8 七ノ沢で転石として採取. この黒曜石上部の表面を水で濡らすと細かい銀色の輝きを見せる. 俗に言うシルバーである.

Mukai Masayuki
（学芸員 向井 正幸）

地学シートHP

ASAHIKAWA CITY

地学Sheets
Asahikawa City Museum

旭川市博物館HP

2026.7.31発行